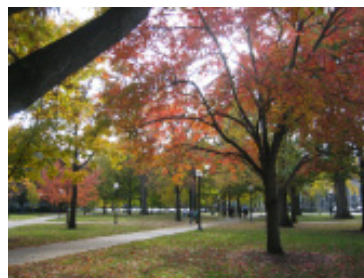


# 高齢者の心のケアをめざす

(第4回)

## ボランティア・ミシガン研修

2010年10月24日～10月31日



身近に高齢者と接するボランティア  
災害で傷ついた被災者の心のケアにあたるボランティア  
のみなさまにお勧めします

## 研修の ご案内

# 紅葉のキャンパスで 心を支えるあり方を学びましょう

森と湖に囲まれた美しい街・ミシガン州アーナーバー市の中心に位置するミシガン大学は、老年医学および老年学の分野において学術的・臨床的成果を修め、高い評価を得ています。同大学医療センターに附属の高齢者専門機関「ターナークリニック」では、患者と同じ高齢ボランティアの協力のもと、地域での在宅療養に力を入れています。

1979年にターナークリニックが開所して以来、ソーシャルワーカーのルース・キャンベルさんは、「ピア・ボランティア」を組織して地域に貢献してきました。「ピア」とは「同僚・仲間」の意。同じ年代のボランティアが定期的に高齢患者の自宅を訪ね、話の聴き役となる



友愛訪問を行っています。“心のケア”は専門家でないとできませんが、友人や家族にも言えないような悩みや、時には心に秘めた辛い話などを聴くことによって、心の安らぎを得て自ら解決策を見つけてもらうのです。

本研修では、日本の高齢者医療・福祉に造詣の深い講師陣が、傾聴が果たす役割の大きさなど、高齢者の心を支えていくあり方について、わかりやすく教えてくださいます。事例を交えての講義のほか施設見学、現地のボランティアとの交流やボランティアに同伴しての活動なども体験することができます。また、野外でのアクティビティを通して楽しくチームワークを学び、自分を見つめなおす体験学習なども用意しています。

紅葉の舞い散るミシガンのすばらしい環境の中で、ピア・ボランティアの方や同じく研修に参加の仲間と経験を分かち合い、じっくり語り合うひと時は、これからの活動に大きな示唆と活力を与えることでしょう。

高齢者の心のケアをめざすボランティアのみなさん。どうぞこの研修を通してご自身の人生と活動に、新しい風を吹き込んでください。

## 講師紹介



ルース・キャンベル

**Ruth Campbell, MSW**

ターナークリニック  
元ソーシャルワーク部長

略歴：ターナークリニックでソーシャルワーク部長を29年務めた。ピア・ボランティアを組織し、地域の高齢者や家族のために、ボランティアと共に数多くのサポートプログラムを開発。2006年から東京大学老年学研究プログラム客員研究員。



フォーク阿部まり子

**Mariko Abe Foulk, ACSW**

ターナークリニック  
臨床ソーシャルワーカー

略歴：ターナークリニックで高齢者と家族の社会心理アセスメント、カウンセリング、ケアマネジメントなど担当。ソーシャルワーカーおよび関連医療職種の実習生の研修、ス・パービジョンに携わっている。2003～2005年まで東北福祉大学大学院で教授を務めた。

## カリキュラムの概要

10月24日	成田空港（関空）発→デトロイト空港着→ホテルへ移動
10月25日	講義『ボランティア活動の目的』『ピア・ボランティアの歴史と活動』 交流『ピア・ボランティアとのディスカッション』 見学『ターナー・シニア・リソース・センター』
10月26日	見学『現地ボランティアに同伴して活動見学』『ターナークリニック』
10月27日	体験『チャレンジ・プログラム』
10月28日	見学『アーバーホスピス』 交流『地域サービス機関の紹介』『日米ボランティアの意見交換会』
10月29日	講義『認知症、うつ、悲嘆』『傾聴と共感、ライフレビュー、ロールプレー』 総括『研修を振り返って』 修了式
10月30日	デトロイト空港発→成田空港（関空）着（10月31日）

カリキュラムは変更になることがあります  
全てのカリキュラムに通知がきます

当財団ホームページで研修の様子をご覧ください。  
<http://www.univers.or.jp>

『ルース・キャンベルさんの講義』から

### 相手のペースに合わせる大切さを覚<sup>し</sup>る

ボランティアが活動をする上で注意していただきたいことは、相手に無理に「喋らせよう」としないことです。それでは「あるがままを受け入れる」ということになりませんし、自分の「喋るべきだ」という価値観、自分のペースの押しつけになってしまうからです。ボランティアには元々

積極的な人が多いのに対し、クライアントの中には消極的になっている人も多いのです。無理に喋らせようとするのは相手を見殺しにしたボランティア側の満足にすぎないのではないのでしょうか。長期的、定期的な活動の中で、相手のペースに合わせて口を開いてもらうことが大切なのです。

参加者の声より

▶お互いに信頼しあうということがどんなに素晴らしいことか。また、信頼できる人がいるということが、どんなに心に平穏をもたらすことか、つくづく感じました。こうしたボランティアを継続させることができれば、世の中も変わっていくのではないかと思います。

▶この研修を通して、聴くことの大切さを学びました。大切なのは、相手の方の尊厳を守り、その方の考え、思いを大切に、寄り添うことだと教えていただきました。ボランティアにできることは、ただそばに居てその方の自立を見守ってあげること、という認識を新たにしました。

(第4回)  
ボランティア・ミシガン研修  
—募集要項—

募集人員：15名

日 程：平成22年10月24日(日)～10月31日(日)

開催場所：ミシガン大学老年医療センター附属ターナークリニック(米国ミシガン州)

参加対象：身近に高齢者と接するボランティア、傾聴ボランティアなど高齢者や災害被災者などの心のケア活動に取り組まれている方  
(プログラムには通訳がつきますので、どなたにも安心してご参加いただけます)

費 用：100,000円(概算)  
国際航空運賃、ホテル代、現地での食事代および地上移動費を含みます。

宿 泊 先：キャンパス・イン(お部屋はツインルームとさせていただきます)

申込方法：参加希望の方は以下のものをユニバーサル財団宛にご提出ください。  
(申し込み多数の場合は書類選考させていただきます)  
所定の申込書  
1,000字程度の作文  
テーマ「ミシガン研修に臨むにあたって  
- ボランティア活動の経験を踏まえて - 」

応募締切：平成22年7月30日(金)必着

選考結果：平成22年8月16日(月)までに、書面にてご連絡いたします。  
ご提出いただきました書類は返却いたしませんのでご了承ください。  
採否の理由など、選考に関わる内容についてのお問い合わせには応じかねます。

備 考：日本発着空港は成田空港、および関西空港とさせていただきます。  
渡航に際しては、ユニバーサル財団スタッフが同行します。  
海外旅行傷害保険に加入していただきます。



宿泊ホテル 外観

お申し込み・お問い合わせ先



〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階  
Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008  
<http://www.univers.or.jp> E-mail: [info@univers.or.jp](mailto:info@univers.or.jp)

(第4回) ボランティア・ミシガン研修

## 参加申込書

平成22年 月 日

ユニバーサル財団 御中

ふりがな			
氏名			男・女
生年月日	昭和 年 月 日生	年齢	歳
ふりがな			
現住所	〒		
	電 話 ( )		—
	携帯電話 ( )		—
	F A X ( )		—
e-mail	@		

勤務先 名 称	(現・元)	役職名	
------------	-------	-----	--

所属ボランティア団体名
ボランティア歴 年
資格・免許

\*もれなくご記入ください

※当申込書にご記入頂いた内容は、当法人からご本人への連絡以外には使用しません。

※参加ご希望の方は、当申込書および1000字程度の作文をご提出ください。  
(テーマ「ミシガン研修に臨むにあたってーボランティア活動の経験を踏まえて」)